

下からケーブルのみえない新製品ワイダーラック

- ◎ 近年、ケーブル配線の急増に伴いケーブルラックがあらゆる場所に進出してきました。下からみえるケーブルが、蛇行していたりたわんでいると、大へん気になるものです。
- ◎ その結果、梯子状のケーブルラックは、小桁の上に網、板等を敷いて使われるケースがふえています。これらのニーズに沿うために開発されたのがこのワイダーラックであります。
- ◎ ワイダーラックは、一枚板の亜鉛処理鋼板に特徴のある幾何模様を打ちぬきさらに両端を成型したものです。標準品は高さ50mm・巾300・400・500・600の4種類、長さは直線もので3メートルです。附属品には、各種分岐、継ぎ金具、吊り金具、取付金具、ケーブル保護用及び結束用資材等あります。標準的な表面処理は、亜鉛処理鋼板にクリアー塗装を施してあります。
- ◎ ワイダーラックの特長は、下からケーブル配線がみえないので出来上りの外観が体裁よく。整然とした環境にもふさわしい電気動脈の設備ができることです。また、ケーブルの結束がどこでもできることも強みです。最近、地下駐車場等低い天井でのケーブルラックの使用が多くなりましたが、ケーブルの損傷を受けないためにもこのワイダーラックは好適であります。
- ◎ 11月から発売の予定であります。現品はこの秋の電設工業展（10月24日～29日東京晴海）に出品しております。

